

経験を生かし、社会に貢献

<<新現役交流会開催>>

主催：全東栄信用組合

共立信用組合

七島信用組合

共催：経済産業省関東経済産業局

後援：一般社団法人東京都信用組合協会



会場は新築の全国信用組合会館



参加者が続々とお出でになります

全東栄信用組合、共立信用組合、七島信用組合主催の新現役交流会が9月25日(水)13時から開催されました。(東京都中央区京橋)

会場は新築された全国信用組合会館、まだ真新しい匂いが香る7階講堂です。18企業の経営者、77名の新現役、3信用組合の支店長、関係者が集って新現役交流会が行われました。



橋本理事長のご挨拶



原田参事官のご挨拶



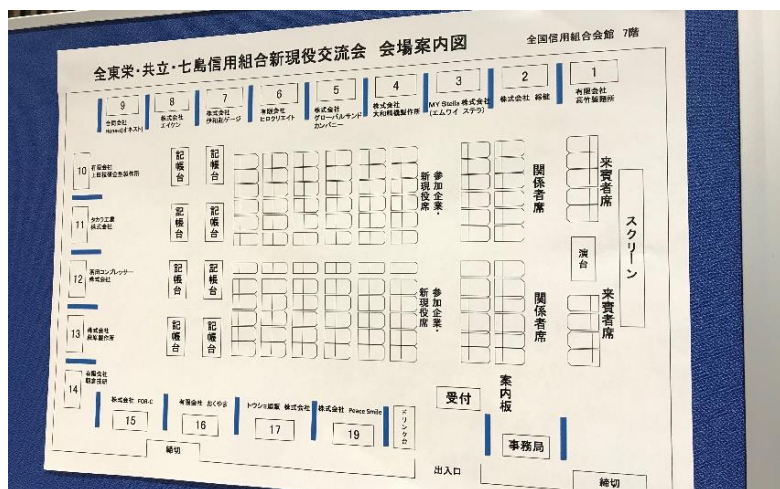
保田代表理事による留意事項説明

開会にあたって、まず全東栄信用組合理事長 橋本 勇氏が挨拶に立たれ、信用組合における新現役交流会の位置づけ、その重要性を説明され、本日の成果に対する期待を述べられました。

続いて、内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官 原田一寿氏が、「地方創世の観点からも新現役交流会の役割は大きく、全国展開も進んできている。中小企業庁、金融庁と連携して大きな成果に結びつけて行きたい。」と挨拶されました。

最後に当法人代表理事の保田邦雄が、「本日の新現役交流会に向けて企業経営者、信用組合、新現役がそれぞれの立場で進めていただいた準備を十分に生かして、フランクに、真剣に、本音で面談に取り組み、次のステップに進むことを願っています。」と述べました。

13時20分から18社のブースで面談20分、記録5分のローテーションで面談が始まりました。9名のエントリーがあったブース6社では17時20分まで熱い面談が続きました。



会場案内図



面談が始まりました

新現役の方に参加の理由や感想を伺いました。

「漫然と生きるのではなく、社会貢献したいと思い、新現役に登録しました。現役時代の業務経験や、学んできた分析手法を生かすことができ、楽しいです。」

「65歳以上でハローワークに行っても胸躍る仕事は少ないので、新現役に登録しました。新しい課題に対応するには勉強が必要ですが、面白いし、やり甲斐があります。」

また、自分にとっては当たり前という言葉や、常識が伝わらないことがあり、コミュニケーションに気をつけるようになりました。現役の時は同質社会で暮らしていたんだなと痛感しました。」

「会社では財務・経理業務を担当してきましたので、その専門性を生かしたいと思って参加しています。事前に提示された課題だけでは実情を読み取れない部分もありますが、面談で社長の思いや努力を伺えて、企業経営の厳しさの理解が進みました。」



まずは自己紹介から



面談が終了し、アンケートを記入します

企業経営者にも感想をお聞きしました。

「支店長からのお奨めで初めて参加しましたが、課題を纏めることが自分の会社をふり返る良い機会になりました。

その上でこの交流会で何人もの新現役の方からそれぞれ異なる観点から一生懸命に提案や問題点の指摘をしていただき、有難かったです。」

「販売拡大と一言で言っても、自分たちでは一つの見方に拘ってしまって新しい発想が難しいので、新現役の提案やアイデアは大変刺激になりました。また実施が難しい施策についてはハッキリ難しいと言ってくれるので、適切な意思決定をする上で参考になります。」

「支店長から20分の面談時間はアツという間ですよとのアドバイスを受けましたので、核となる質問を一つだけに絞り、そこから話を広げていくスタイルを目指しました。お陰で面談時間を有効に使えました。」